

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信濃大町の食の魅力整備発信事業
事業主体 (連絡先)	信濃大町の食おいしいプロジェクト準備委員会
事業区分	産業振興・雇用拡大に関する事業(その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業)
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,732,503 円 (うち支援金: 2,160,000 円)

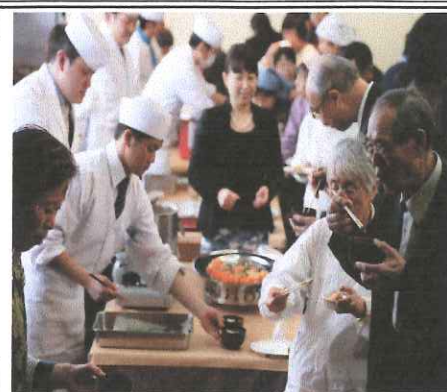
事業内容

地産地消推進の仕組み作りの1つとしてメニュー開発、レシピ集作成など、飲食店やお菓子屋さん、ホテルの料理長などの知恵の結集に努めてきた。

集大成の1年は国際芸術祭の経験から学んだ、『おもてなしに足りなかったこと』の学習会を開催。

今後の事業継続に向けて農政課との連携事業として

『大町の食材を楽しむ会』へ参加し貢献に努めた。



【目標・ねらい】

事業効果

1. 料理人達が地域の食を知る機会になり、地産地消を加えた料理の開発と提供に前向きな体制ができた。
2. 郷土食材の見直しと地域の食文化の継承につながる試食会、お披露目会開催を通し地元市民への発信や来訪者への食のおもてなしの学び合いにつながった。
3. 食の取り組みをしていることがマスメディア・・・地元ローカルメディアに評価されることにより大町市からの食の発信にもつながった。
4. 大町特有の食材の生産者との連携を深めることを通じ、地産地消の促進と、地域経済の好循環への寄与に努めた。

- ① 特色ある郷土食の開発
- ② その情報発信
- ③ 料理人、飲食店などの連携事業の推進
- ④ 地域経済への波及効果

※自己評価 【A】

今後の取り組み

地元での郷土食見直しへの機運のさらなる推進と、料理に携わる方々の商品開発への応援体制を推進。生産者との、季節ごと安定供給できる商品の開発やメニュー開発に取り組む。

大町市の事業である『大町の食材を楽しむ会』を通じ料理の作り手と生産者のさらなる連携を深め合う試食学習会を引き継承できることとなった。

来訪者への食のおもてなしに取り組む町として情報を発信していきたい。

【理由】

大町市が地産地消開発に取り組みたい作物のメニュー開発に連携で取り組めたことは生産者、提供者の学びの機会として有意義であった。さらにこの取り組みは大きな目的でもあった。

旅の思い出の大きな要素である食の大切さや、来訪者にその思いを伝えこの地の環境の素晴らしさや文化を知っていただきこの地を選んで来て良かった、また来たいと思っただくことが大切であると改めて学